

建築耐震工学第一部
Earthquake Engineering I

教員名	馬場研介（ばば けんすけ）								
教員連絡先 （研究室所在地・TEL）	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 7 2 3 室 電話：06-6879-7631								
E-MAIL アドレス	kbaba@arch.eng.osaka-u.ac.jp								
履修対象	建築工学コース（2年次）								
単位	2	セメスター				4			
受講条件	建築構造力学の内容を修得していることが望ましい。								
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築構造物に対して合理的な耐震設計を行うため、構造物の動力学ならびに地震応答解析に関する基本的な事項について理解を深めることを目指す。								
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H	
	○			◎	○				
業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育目標	
	強地震の概要（2回）	海洋性地震ならびに内陸性地震の概要について基本的な知識を修得する。（包括2回）						A	
	建築耐震構造の歩み（2回）	建築耐震工学が歩んできた歴史を通説し、これまでに発生した大地震による被害例について基本的な知識を身に付ける。（包括2回）						A	
	質点系の振動（6回）	建築構造物の振動現象を把握するため、時刻歴応答および周波数応答について基本的な知識を身に付ける。（高度4回）また振動系の伝達特性に関する専門知識を身に付ける。（包括2回）						A D	
	地震応答スペクトラム（2回）	工学的に重要な地震応答スペクトラムの概念について基本的な知識を修得する。（包括1回）また、周辺地盤を考慮した地震動の性質に関する専門的な知識を身に付ける。（包括1回）						A D E	
	建築物の耐震設計（2回）	建築物の地震応答を適正に評価したうえで、耐震設計法の基本的な知識を修得する。（包括1回）また、地震エネルギーの吸収装置を付設した応答抑制法について専門的な知識を身に付ける。（包括1回）						A E	
	学期末試験（1回）								
教科書	特に指定しない（授業中に資料を配布する）								
参考図書・文献等	最新建築学シリーズ9「最新耐震構造解析」森北出版								
成績評価方法・評価基準	D, E について学期末試験で評価する（80%）。 A については授業中の課題発表で評価する（20%）。								
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応								
コメント	建築耐震工学と密接に関係した講義である。								